

基本方針

研究や意見交換をインフォーマルな雰囲気の中で行い、研究者が互いに刺激しあえる場を形成することを目指す。とくに Meeting では、優れた研究成果の発表や意見の交換の場を提供することを目指す。そのため、Meeting の日時、内容、報告者と討論者の選定などに関して、オーガナイザーに最大限のフリーハンドを保证する。

Meeting の運営方法

1 . Meeting を Annual Meeting、臨時的な Special Meeting と大規模な Conference に分ける
(注)

2 . Annual Meeting については、随時オーガナイザーの希望者は事務局長まで申込み、Executive Committee の承認を得る。申込は随時受付ける。1 年以上前でも申込可能であるが、遅くとも前年度末(3 月末)までとする。

3 . 申込がない場合には、Executive Committee が継続的に適当なオーガナイザーを探すが見つからない場合にはその年度の Annual Meeting は中止する。

4 . Annual Meeting が承認され次第、会員に連絡し、ホームページに掲載する。

5 . Special Meeting については、随時オーガナイザーが事務局長に申込み、Executive Committee の承認を得る。年に 2 回までの開催とする。

6 . Conference のオーガナイザーは随時計画が持ち上がった段階で、開催が順調に進むように Executive Committee と相談する。

7 . Annual Meeting のオーガナイザーに 4 万円、Special Meeting のオーガナイザーには 1 万円の開催経費補助金を出す。Conference には補助金を出さない。なお、オーガナイザーは経費のうち補助金と参加者の自己負担でカバーできない部分があるときは、その不足分を準備しなければならない。

注：

Annual Meeting は、規模として、発表者の数が 10 人以上で、複数の日にまたがって開催され、主に、国内の研究者が参加するものです。

Special Meeting は臨時的色合いの濃い会議です。規模は特に定めませんが、主に、発表者の数も 6、7 人程度で、1 日で終了するものです。

Conference は海外からも研究者を招待して大きな規模で行う会議のことです。Conference は比較的大きな資金をとれた会員が IEFS Japan と協力して開催を望まれる場合のもので